

創立25周年記念式典を開催

日本システム企画

熊野社長が今後の活動計画を発表



主催者挨拶を述べる
熊野活行社長

日本システム企画（社長＝熊野活行氏、本社・東京都渋谷区）とグループ会社の日本ヘルスケア（社長＝本社＝同）は21日、東京・港区のホテルオークラ東京にて創立25周年記念式典を開催するとともに、併せて日本モ

ンゴル友好交流協会（会長＝熊野活行氏）の創立20周年式典並びに日本ミヤンマー友好交流協会（会長＝同）の創立10周年記念式典を開催した。冒頭、主催者挨拶に登壇した熊野活行氏は「日本システム企画の主たる事業は、給水管あるいは空調冷水管の配管内赤錆防止装置『MMRパイプテクター』という特殊な装置の製造・販売である。5年前の20周年の時と比べ、同装置への市場の信頼度は格段に向上し、数多くの建物に採用される。同時に、国土交通省の新技术活用システム（NETIS）に登録され、同省の関連施設である交通大学校に導入・検証され、現在も使用されている。この装置は現在3千200の建物で導入されている。イギリスではウインザー城やバッキンガム宮殿、BBCなど有名建築物で導入され、米海軍やロシアでの導入も決まるなど、今後世界各国への普及拡大の期待が高まっている」と挨拶を述べた。

このあと、奥羽大学葉

学部生化学分野の山本正雅准教授が、配管の酸化防止技術を医学的に応用した、酸化ストレスを低下させる装置「NOMOA」の共同研究の概要について紹介し、熊野氏が新規グリーンエネルギーである海流発電システムを今年度中に海中実験を行うこと、海外において「NOMOA」のテスト販売を行うことなど、今後の活動計画を発表するとともに、社会貢献の概要について説明した。

続いて、来賓を代表してモンゴル国際経済大学理事長・モンゴル国永久名誉大使のBadamochiryn Doljinntseren氏、日本赤十字社社長、国際赤十字・赤新月社連盟会長の近衛忠輝氏、NTTFアシリティーズの沖田章喜相談役の3氏が祝辞を述べた。

次に、熊野氏より日本赤十字社社長・国際赤十字・赤新月社連盟会長の近衛忠輝氏と全国脊髄損傷者連合会の妻屋明理事長に寄付の贈呈が執り行われるとともに、東京大江戸ライオンスクラブモンゴル委員会の宇田川好信委員長と東京大江戸ラ



式典の様相

イオンスクラブの小川弘行会長に感謝状の授与が執り行われた。

このあと、衆議院議員・前防衛副大臣の長島昭久氏の音頭で乾杯を行い、祝宴となった。その後、日本メックスの米川清水社長、平山誠参議院議員が祝辞を述べるなど、和やかな雰囲気の中で約2時間にわたり歓談し、記念式典は閉会となった。

空調タイムズ

THE AIR-CONDITIONING TIMES

購読料一カ年18,000円 発行日毎週水曜日

6月26日水

2013年〈平成25年〉
週刊
第2499号